

支部長に
下田氏
充実した環境づくりを

県産廃協会鹿児島支部が設立



下田勝幸支部長

県産業廃棄物協会鹿児島支部の設立総会が27日、鹿児島市のマリンパレスかごしまで開かれ、初代支部長に下田勝幸氏(株)鹿児島開発工業を選任、先進処理施設の視察研修や講習会の実施を柱とする新年度事業計画など充実した産廃環境づくりを目標とすることを決めた。

同支部は、鹿児島市郡内関連業者73社で構成。会ではまず設立準備委員の末吉晴海氏(末吉建設(株))が「ようやくこの日を迎えることができた。」



適正処理の研修会開催等を決めた設立総会
＝鹿児島市のマリンパレスかごしまで

より良い支部づくりに努めていきたい」と挨拶。引き続き、末吉氏を議長に選出して議事に入り、支部運営細則案や16年度事業計画及び収支予算案などについて審議、全て原案通り可決承認した。役員選出では、初代支部長に下田氏、副支部長に

末吉氏、永田雄一氏(永田重機土木(株))を選出した。新たなスタートに際して、下田支部長は「地域の皆様方の声を集約して、業界の発展に全力を傾注していきたい」と決意を述べた。

主な16年度事業計画は、①産業廃棄物の適正処理に関する研修会や講習会の開催②先進処理施設視察研修事業の実施③行政機関へ陳情要望や意見交換会の開催など。

新役員は次の通り。

支部長＝下田勝幸▽副支部長＝末吉晴海 永田雄一▽理事＝野元一喜(株)ビルメン鹿児島 重田悦郎(株)創友環境開発 池平陽一(南トレンディ開発運輸) 新留次雄(株)ヤクヤクリサイクル 下田勝利(株)勝利商會▽監事＝上村清俊(清輝建設(株)) 川口修一(株)太陽建設

県コンクリート骨材対策協

共同17年度にも着工か

県内の生コンなど建設資材7団体で構成する県コンクリート骨材対策協議会(桑木喜行会長・県生コンクリート工業組合理事長)は27日、鹿児島市の南国日生ビルで第2回共同試験場(技術センター)設置検討委員会を開いた。この中で、17年度初旬にも共同試験場建設に着手し、同年度

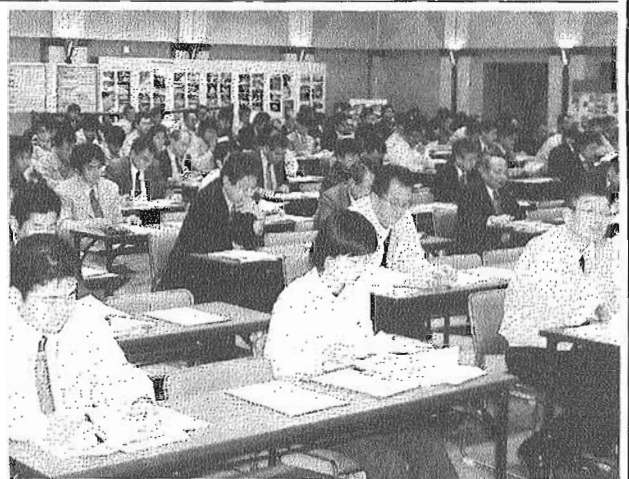


試験項目、設備内容、費用等について検討した委員会＝鹿児島市の南国日生ビルで

地及び敷地面積、施設規模、設備機器等を選定し、17年度初旬にも着工させたいとした。なお、同年度中旬には完成させ、同年度後半

木材利用推進研修会

耐久性への配慮を指摘



県産材の利用促進などを学んだ研修会
＝鹿児島市の県庁講堂で

木材利用庁内推進会議(会長・脇田稔県知事)の主催による木材利用推進研修会が27日、鹿児島市の県庁講堂で開かれ、公共事業等を担当する本庁、出先関係職員、市町村関係職員ら約200人が参加し、県産材の利用促進や土木事業における木材利用、木材利用における防蟻・防蟻処理について学んだ。

同日は、開講前に寺師健次県林務水産部次長が「日頃から県産材等の利用推進にご協力いただき感謝しています。また本日の研修会を有意義なものにしてもらいたい」と挨拶。

続いて県林務水産部林業振興課の井内祥人かごしま材振興企画監が「鹿児島県における県産材の利用促進について」、同課の串崎明義総括工事監が「土木事業における木材利用について」、内田信也日本木材防腐工

電子ロックの施工等解説

鹿児島電気工事業協組がセミナー



電子ロックの施工方法などについて学んだセミナー＝鹿児島市の鹿児島電設会館で

業組合技術委員が「木材利用における防蟻・防蟻処理について」それぞれ解説した。参加者は資料にチェックを入れたりメモを取るなど真剣に聴講した。

そのなかで井内氏は「木材に耐久性がないのは木材に問題があるので、内田氏も日本木材防腐工に問題があり、耐久性の確保に欠けている」と指摘した。当日は、同会場内において、間伐材等を活用した土木資材等の展示コーナーも設置された。なお同研修会は、木材利用の共通認識を図り、公共事業等における木材利用を一層推進するために開催された。

構成材の設計等講演

カナダ林産業審議会・SPFプログラムの27日、鹿児島市の県市町村自治会館でCOF1ツーパーバイフォー工法セミナーを開き、在来工法など他工法に携わっている住宅建築関係者らが参加、同工法の構造部材の構成方法や考え方の基本レベルについて説明。

COF1ツーパーバイフォー工法について学んだセミナー＝鹿児島市の県市町村自治会館で

カナダ林産業審議会・SPFプログラムの27日、鹿児島市の県市町村自治会館でCOF1ツーパーバイフォー工法セミナーを開き、在来工法など他工法に携わっている住宅建築関係者らが参加、同工法の構造部材の構成方法や考え方の基本レベルについて説明。

引き続き、新川俊博氏(二級建築士)が「ツーパーバイフォー工法とは」「住宅金融公庫共通仕様」などを説明した。

【訂正】

27日付け5面、生勝1号トンネル安全祈願祭の記事中、南生建設(株)の副社長が上田謙一(副社長とあるのは「上田謙一(副社長)」の誤りでした。おわびして訂正致します。

中の顧客に喜んでいただけるような提案営業を行っていただきたい」と挨拶。このあと、松本宏二アイホン(株)鹿児島営業所員が「犯罪防止4原則」「これからの防犯について」などを説明したほか、同システムの概要(システム構成、ドアスイッチ、電気錠コントローラー)などの紹介も行った。

また、ミニチュア型の玄関ドアに実際に機器を取り付ける施工実習も行われ、施工手順及び方法について詳しく講習を受けた。この中で、三井宏幸アイホン(株)福岡営業所長が「このシステムを導入することにより空き巣などの犯罪を防止する環境をつくることできる」と話していた。